

# 一般国道161号 湖北バイパス（大沼ランプ～日置前ランプ間）の開通に伴う整備効果について

平成13年12月10日（月）に開通した、湖北バイパス（大沼ランプ～日置前ランプ間）の整備効果について、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

また、地域住民の方々から開通に伴う喜びの声も寄せられていますので、あわせてご紹介します。

## 《調査概要》

1. 調査日時：開通前（事前）調査  
平成13年11月15日（木）～21日（水）  
開通後（事後）調査  
平成13年12月13日（木）～平成14年1月13日（日）
2. 調査場所：一般国道161号＜高島郡マキノ町～高島郡今津町＞
3. 調査内容：交通量調査、旅行速度調査、大気質調査、騒音調査

## 《整備効果の概要》

国道161号現道（マキノ町沢交差点～今津町日置前平ヶ崎交差点間）では、開通前には約10,200台/日の交通量が、開通後には約2,800台/日に減少（約73%減少）し、湖北バイパス本線に約8,800台/日転換しました。その中でも、大型車の交通量は、開通前には約3,800台/日に対し、開通後では約200台/日に減少（約95%減少）されました。

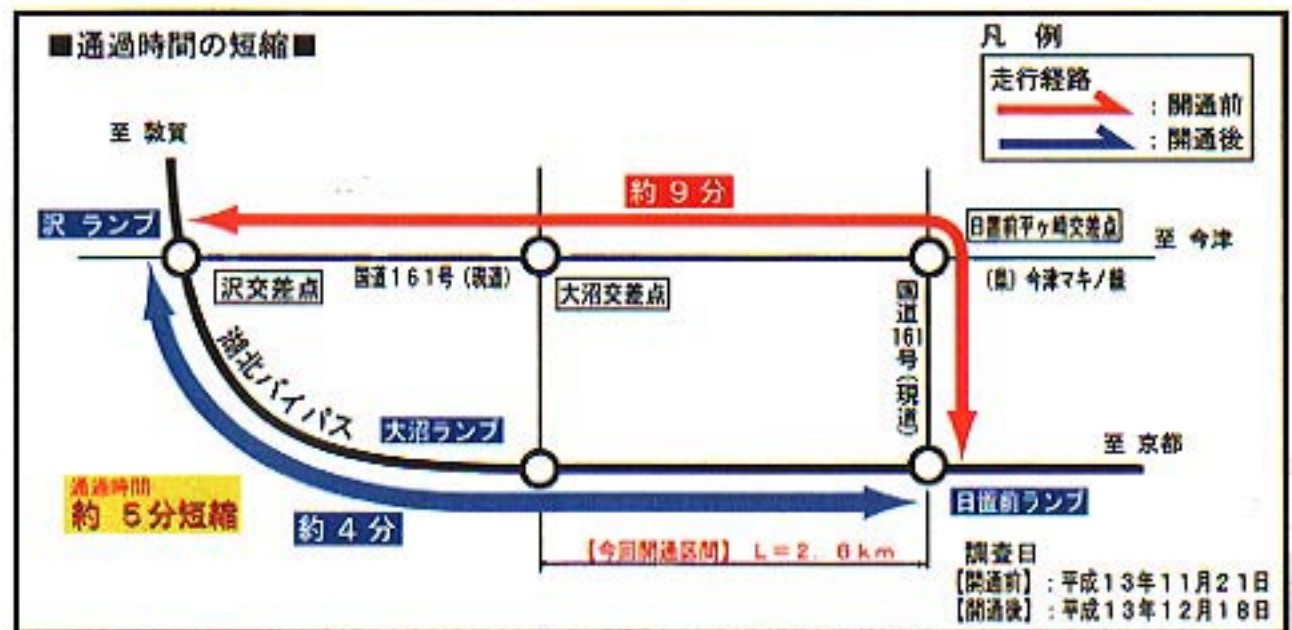
1. 沢交差点～日置前ランプまでの所要時間は、開通前（現国道161号を利用）は約9分要していたのに対し、バイパス開通後は約4分と約5分の短縮が図れました。
2. また、現国道161号の交通が大幅にバイパスへ転換したことにより、沿道環境が大幅に改善され、これまで環境基準を超過していた現国道161号沿道での騒音値が環境基準を達成しました。
3. 開通前の平日は、上下線ともに大型車交通が多かったため、歩道部のない区間では、歩行者にとって非常に危険な状況でした。開通後にはほとんど大型車が通行しなくなったため（約95%減少）、歩行者に対する安全性が向上しました。
4. 地域住民の方からも、バイパス開通を喜ぶ声が寄せられました。

# 1. 開通に伴う整備効果

バイパスの開通により、現国道の交通量が約73%バイパスへ転換。特に大型車は、約90%以上がバイパスに転換。

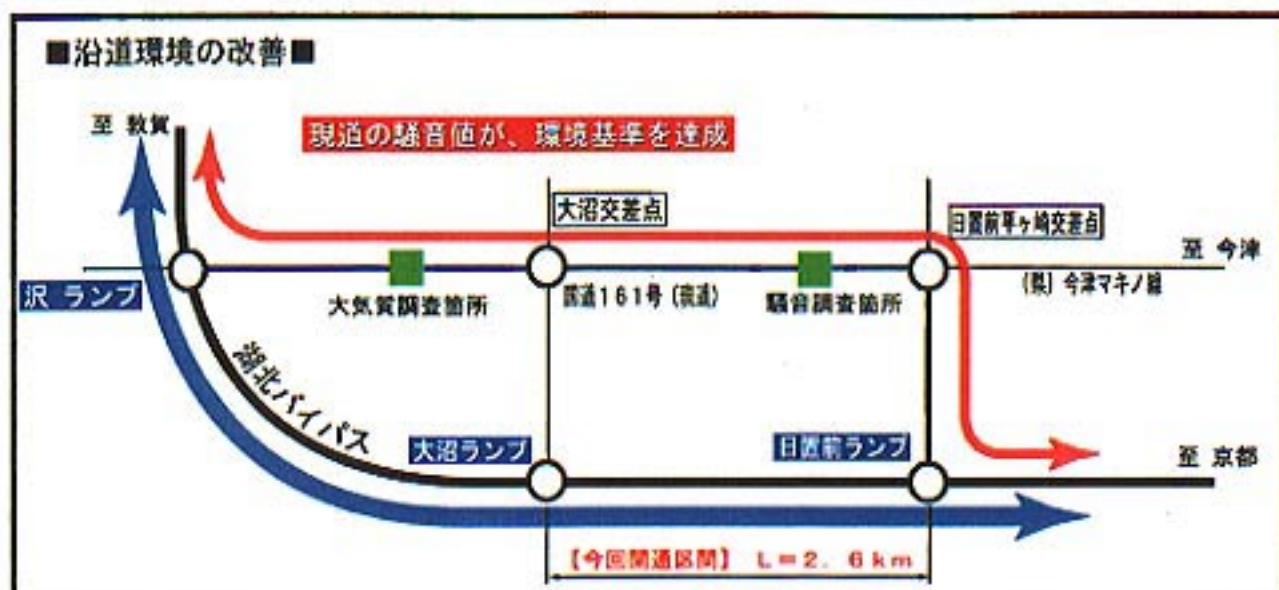


開通前は、朝ピーク時で沢交差点から湖北バイパス日置前ランプ間の所要時間は約9分必要でしたが、開通後は道路の走行性が上がり、速度の向上により約4分となり、約5分の通過時間の短縮が図れました。

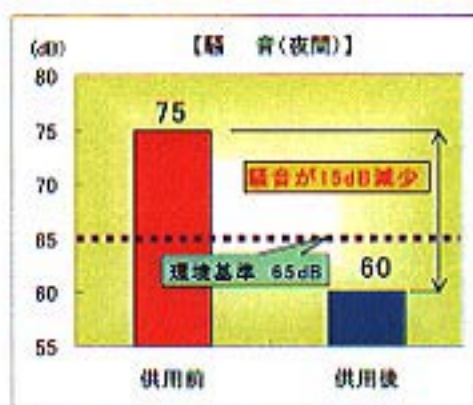
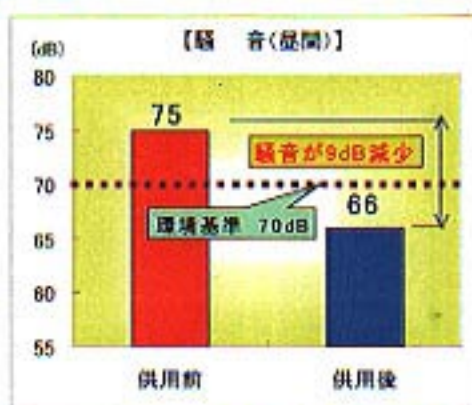




現国道161号沿道の道路交通環境が、大幅に改善されました。



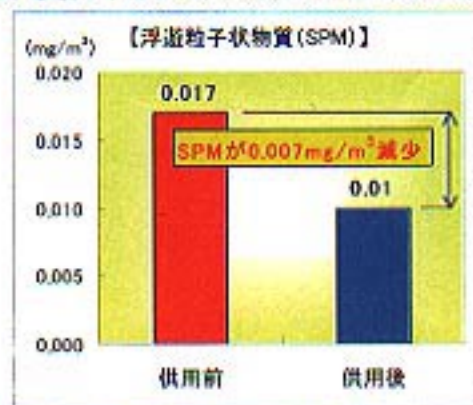
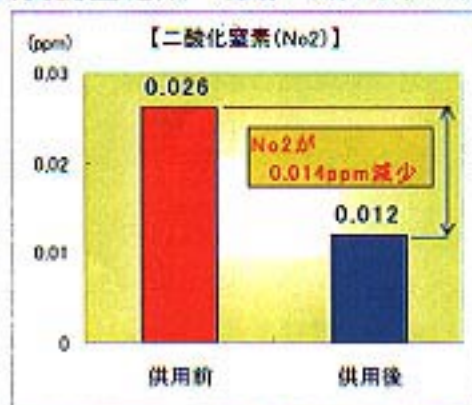
◇騒音調査結果 (事前：平成13年11月18日～19日、事後：平成14年 1月13日～14日 調査)



※ 騒音値の環境基準は、「新線交通を起る道路に近接する空間における特別値」により、昼間70dB以下、夜間65dB以下である。

※ 「昼間」とは午前6時から午後10時、「夜間」とは午後10時から翌午前6時をいう。

◇大気質調査結果 (事前：平成13年11月15日～21日、事後：平成13年12月13日～19日 調査)

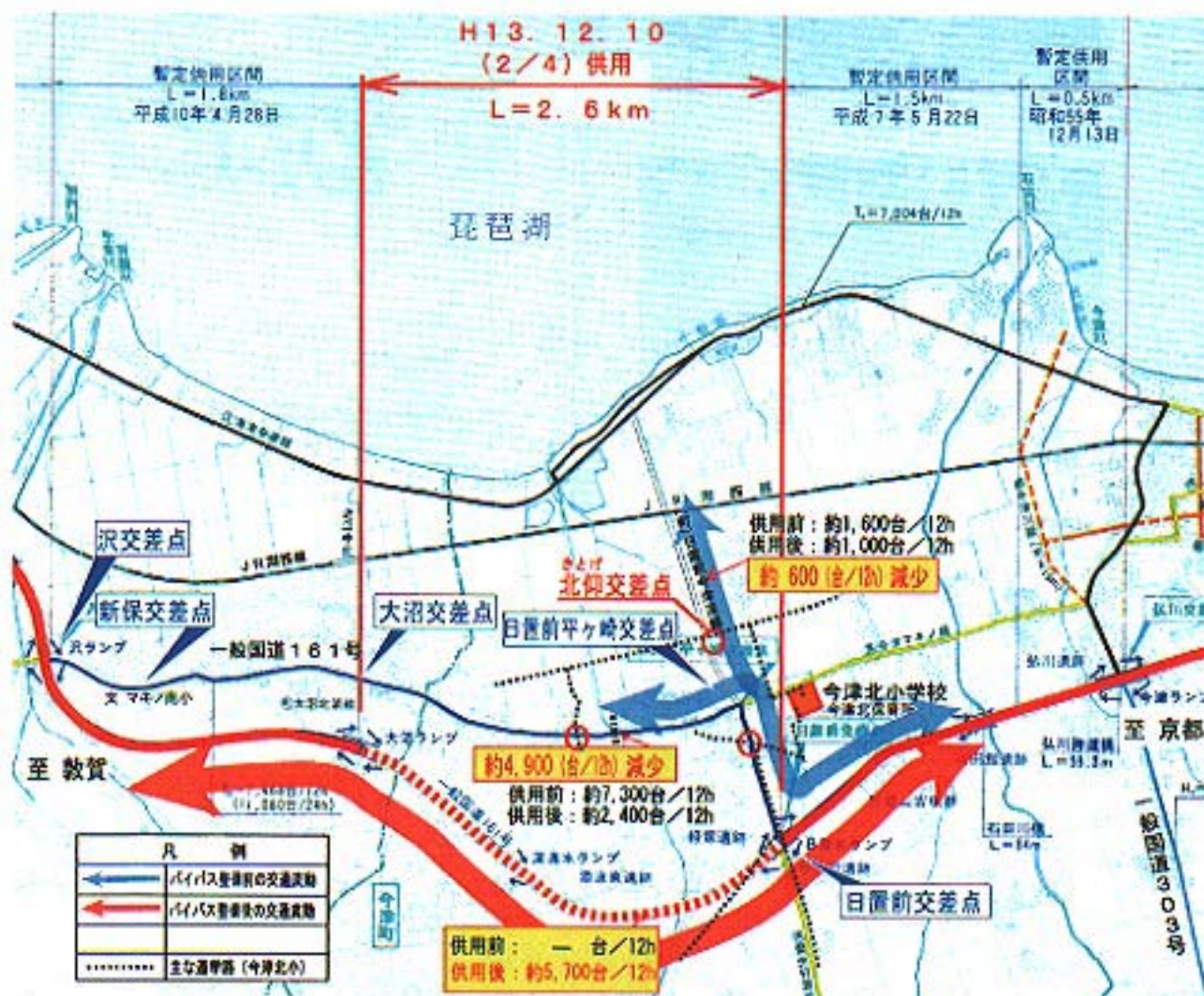


※ 二酸化窒素 ( $\text{No}_2$ ) の環境基準は、1時間値の1日平均値が、0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、またはそれ以下であること。

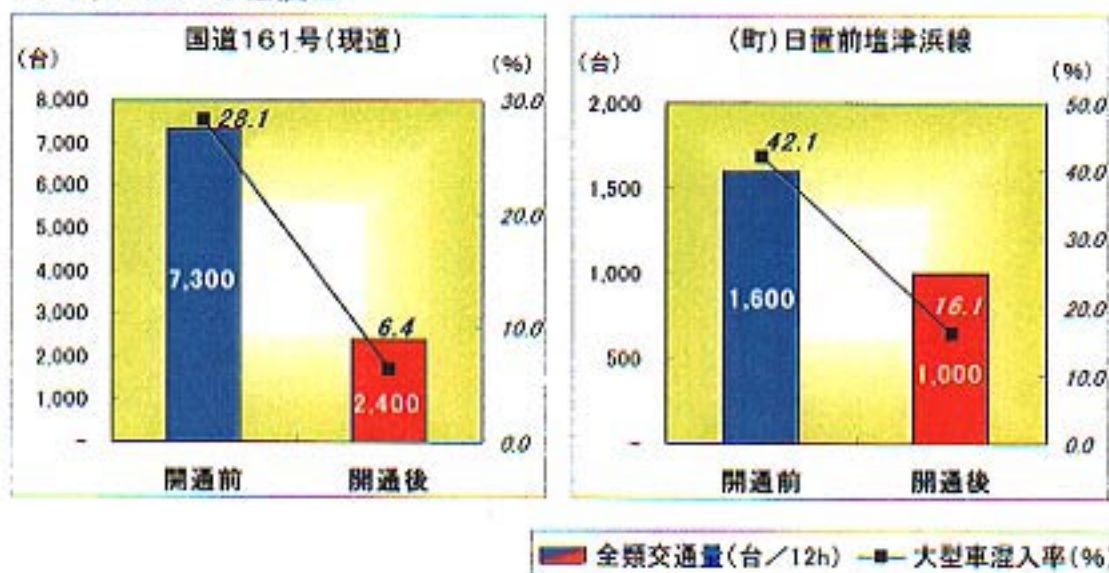
※ 浮遊粒子状物質 (SPM) の環境基準は、1時間値の1日平均値0.10 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1時間値が0.20 $\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること。



バイパスの供用により、地域を通過する交通流動がバイパスに転換し、歩行者等の安全性が向上しました。



### ■ バイパスへの転換 ■



## 2. 地域住民の方々より寄せられた意見

(今津町在住) 藤原 恵美子さん 職業: 保育士 (36歳)

湖北バイパス開通以来、旧国道の交通量が減り、保育園前の道から旧国道への出入りもスムーズになりました。保護者の方の保育園への送迎もスムーズになったと共に、子供達も安全に生活できるようになりました。

(マキノ町在住) マキノ南小学校6年生 水口 美郷ちゃん (12歳)

空を走るような新しい道路が完成しました。気持ちよく車が走っているように見えます。

道路工事中は通学路の変更がよくあり、困りましたが、バイパスが出来てからは、通学路の交通量も減り、クラクションに驚かされることや、雨の日タイヤの水はねも少なくなり、一安心です。バイパスのために学校周辺の風景は変わりましたが、バイパスからは私の学校がよく見えるようになりました。この道で他の学校からもたくさんの友達が遊びにきてくれたらなぁと思います。

(マキノ町旧国道沿線在住) 菖蒲<sup>しょうぶ</sup> 貞夫さん (64歳)

長年の悲願であったバイパスが開通されました。私達沿線住民にとってこれほど待ち遠しかった、うれしかった事はありません。今夜も気持ちよく寝られます。

隣の家では、開通と同時に年に1、2度しか開けたことのない窓を開け、新鮮な風を通したとか。また、開通と同時に熟睡して朝寝坊したとか。何かあまりの静けさで生活のリズムが狂いそうだとか。今日まで住民の心からの喜びを噛みしめたことがなかった所です。

(今津町在住) 河原田 ゆかりさん (27歳)

マキノ方面へ行く機会が多いため湖北バイパスが大活躍しています。大きな車とすれ違うのにドキドキしたり、突然人が横切ったりしてビックリすることももうありません。今まで知らなかった角度からの景色が楽しめ、自分たちの住んでいるところをますます自慢に思いながら利用しています。



### 3 . 状況写真

#### < バイパス 開 通 前 の 現 道 >



敦賀方面から「日置前平ヶ崎交差点」を望む

#### < バイパス 開 通 後 の 現 道 >



敦賀方面から「日置前平ヶ崎交差点」を望む

< 湖北バイパスの航空写真 >



< 開通後のバイパス状況 >



敦賀方面を望む

## 【参 考】

### 一般国道161号湖北バイパス (大沼ランプ～日置前ランプ)の概要

- 今回開通区間 -

#### 1. 計画概要

- 1) 起 終 点：滋賀県高島郡マキノ町大沼地先～今津町日置前地先
- 2) 路 線 延 長：2.6 km (湖北バイパス全体延長10.8 km)
- 3) 道 路 規 格：第3種第1級
- 4) 車 線 数：暫定2車線(完成4車線)
- 5) 事 業 主 体：国土交通省

#### 2. 事業経緯

昭和51年5月	都市計画決定
昭和56年度	用地買収着手
平成8年度	工事着手

#### 3. 事業費

C = 約67億円(今回開通区間)

#### 4. 備考

一般国道161号は湖西に位置し、北陸と近畿間を最短距離で連絡する主要な道路です。近年の沿線地域発展に伴う交通量の急激な増加、車両の大型化により沿道環境が低下している状況です。このため湖北バイパスは、志賀バイパス、西大津バイパス等とともに地域高規格道路(琵琶湖西縦貫道路)として整備を進めています。

「湖北バイパス」は、高島郡マキノ町海津の現国道161号～今津町弘川(国道303号との交点)に接続する延長10.8kmのバイパスです。なお、当バイパスはすでに、マキノ町蛭口から大沼ランプまでと日置前ランプから今津ランプまでを昭和55年12月から平成10年4月にかけて順次開通しております。



